

この記入例は、各項目に書いていただく内容をイメージしていただくために掲載しているものであり、書き方等は厳密にこれに沿っていただく必要はありません。各事業者様の取組内容に応じ、分かりやすい形でご記入いただければ結構です。

記入例

三重のサステナブル経営アワード 応募用紙

令和4年〇月 〇日

三重県知事 へ

事業者名：三重プラスチック容器製造株式会社

代表者職氏名：代表取締役 伊勢 三重子

以下の応募要件に該当・合意することを確認し、関係書類を添えて応募し

「ちえっく」と入力して変換すると表示されます。

1 応募要件 (該当・合意する場合は口にしを記入。全てを満たす必要はありません)

(1) 事業者の規模

従業員数・資本金の額が、三重県中小企業・小規模企業振興条例第2条に定める「中小企業・小規模企業」に該当している。

確認

(2) 所在地

三重県内に主たる事務所または事業所を有している。

確認

(3) 事業の継続

3決算期以上、事業が継続している。

確認

(4) コンプライアンス

5年以内に法人や構成員が重大な法令違反をしておらず、重大な労働災害も起こしていない。公序良俗に反する事業を行っておらず、役員等は暴力団員又は暴力団密接関係者ではない。県税、国税を問わず税金の滞納がない。

確認

(5) 経営者ヒアリングへの来場 (2次選考に進んだ場合)

原則として経営者自らが所定の日時・場所に来場し、審査委員からのヒアリングに対応することに合意する。

確認

(6) 現地調査への協力 (3次選考に進んだ場合)

事務局及び審査員が現地(事業実施場所)の調査を行うことについて合意するとともに、その調査に協力する。

確認

(7) 選考結果不問への了解

落選理由など、選考結果に関する個別の問い合わせには応じられないことについて了解する。

確認

(8) 「三重のサステナブル経営アワード」普及のための広報への協力

「三重のサステナブル経営アワード」の表彰を受けた場合、受賞対象

応募用紙は Word 版と Excel 版があり、Excel 版は入力項目以外には保護がかかっています。原則、保護を外さないようお願いしますが、必要な場合は、「校閲」タブ→「シートの保護の解除」をクリックで解除できます。なお、保護がかかったままでも、行の幅の変更や、改ページ線の移動は可能です。

(Word 版、Excel 版のいずれも、各記入欄の大きさを変更したり、改ページをしていただいても差し支えありませんので、読みやすいようにご記入ください。)

2 企業概要

事業者名	三重プラスチック容器製造株式会社		代表者職氏名	代表取締役 伊勢 三重子	
担当者所属・職氏名	総務部総務課企画係 係長 安濃津 太郎				
所在地	〒514-8570 津市広明町13番地				
電話	059-000-0000	FAX	059-000-1111		
E-mail	abcd1234@〇〇〇〇		ホームページ	https://www.〇〇〇〇	
資本金	3,000万円	売上高	1,000百万円	業種	プラスチック製造業
創業年月	平成3年 3月	設立年月	平成3年 3月		
従業員数	正規（役員除く）： 30人 / 非正規： 20人 / 合計 50人				
事業概要 ・ 自社紹介	<p>1. 食品用プラスチック容器の製造・販売</p> <p>2. 医療用プラスチック製品の製造・販売</p> <p>創業以来、業務用食品のプラスチック容器を取り扱い、お客様のニーズに迅速に対応した製品を高品質で・・・・・・・・</p> <p>最近では事業拡大のために医療用品の分野に進出し・・・・・・・・</p>				<p>途中で法人成りをした場合は、事業開始時期を創業年月、法人化した時期を設立年月に記入</p>
受賞歴等	<p>平成〇年度 三重県経営品質賞優秀賞</p> <p>平成〇年度 中部地方発明表彰三重県知事賞（新素材〇〇の開発）</p> <p>令和〇年度 みえの働き方改革推進企業登録</p>				

応募用紙の各記入欄の枠の大きさは、適宜変更して
 いただいて構いません。また、改ページを変更して
 いただくことも差し支えありませんので、読みやす
 いようにご記入をお願いいたします。

3 持続可能性の向上に向けた取組の内容

(1) タイトル（取組の内容を30～50文字程度でまとめてください）

働き方改革の推進と、従業員の能力の発揮を促し、生産性を向上させるための社内体制整備

(2) 環境への配慮・脱炭素のために実践していることについて記述してください。

①環境への配慮・脱炭素に対する企業の考え方

- ・環境保護の取組は社の重要方針のひとつであり・・・
- ・社内の電気使用量削減を・・・
- ・

②環境への配慮・脱炭素のための取組の内容

1 ペーパーレス化の推進

ペーパーレス化のため、以下のシステムを導入した。

- ・〇〇管理システム：・・・
- ・

2 電気使用量の削減

社内の電気使用量削減のため、以下の取組を行った。

- ・作業工程の見直し：〇〇工程で〇〇監視システムを導入し、作業効率を・・・
- ・〇〇運動を実施して勤務時間削減することで、電気使用量の削減を・・・

3

(2)には、ペーパーレス化の推進、ゴミの削減、フードロスの削減、光熱費の削減、グリーン電力（再生可能エネルギーで作った電力）の活用、リサイクルの推進など、環境への配慮や脱炭素につながる取組について記入してください。これらを促進する事業を行っている場合も記入してください。

③取組により得られた効果

- ・ペーパーレス化の推進により、社内の紙使用量が〇%削減し・・・
- ・〇〇工程の見直しと〇〇運動の結果、勤務時間を削減でき、社内の電気使用量が〇%削減・・・
- ・

(効果・成果を具体的に記述するほか、数値で示すことができる場合はそれを記入してください)

(3) 次世代育成（地域及び社内における子育て支援）の推進のために実践していることについて記述してください。

①次世代育成の推進に対する企業の考え方

- ・「当社の存在意義は〇〇の発展と共にある」という経営理念に基づき、地域の子どもたちに積極的に体験の場を・・・
- ・働き方改革の中で、従業員の育児支援を最重要項目とし・・・
- ・

②次世代育成の推進のための取組の内容

1 地域の子どもを応援する取組

- ・工場見学の受け入れ：
- ・体験教室の開催：

2 育児支援制度の充実

- ・育児休暇制度：
- ・

3

(3)には、小学校等からの社会見学の受け入れや小学校等への備品・教材・図書等の寄付、子ども食堂への寄付、子どもスポーツ大会への協賛等の「地域の次世代育成に係る取組」、又は、育児支援制度の充実や子育てしやすい社内風土づくりのためのイクボス宣言などの「自社従業員に対する子育て支援」について記入してください。両方を実施している場合は、「地域の次世代育成に係る取組」を中心に記入してください。

③取組により得られた効果・成果

- ・〇年度は〇件の工場見学の受け入れと、〇件の体験教室の開催を
- ・〇年度は〇人の社員が育児休暇を取得し
- ・

(効果・成果を具体的に記述するほか、数値で示すことができる場合はそれを記入してください)

(4) 地域社会への貢献のために実践していることについて記述してください。

①地域社会への貢献に対する企業の考え方

- ・創業以来、「当社の存在意義は〇〇の発展と共にある」という経営理念のもと、積極的に地域貢献に取り組み、 . . .
- ・

(4)には、寄付金や物品の寄贈、地域の行事やボランティア活動への参加、地域活性化のためのイベントの開催、地元高校等とのコラボ商品の開発、地域からの積極的な雇用など、地域との連携を深める取組を記入してください。また、獣害対策、空き店舗・空き家問題、廃校舎利活用、地域資源の活用や地場産業の振興など、地域課題の解決に取り組んでいる場合も該当します。

②地域社会へ

- ・年に〇回、従業員がボランティアで〇〇駅前の清掃活動を . . .
- ・社員食堂の食材は地元産野菜を中心に使用し . . .
- ・〇〇活動推進のため、〇〇市に自社製品の〇〇を寄付し . . .
- ・

地域における育児支援に関する取組を記入する場合、(3)にも記入してください。

③取組が地域に与えた影響や、地域における評価

- ・〇〇駅前の清掃活動が、〇〇新聞で企業の地域貢献の例として取り上げられ . . .
- ・昨年度、社員食堂では計〇〇円分の地元産野菜を購入し . . .
- ・〇〇市に寄付した〇〇は〇〇施設で活用され、市から感謝状を . . .
- ・

(具体的に記述するほか、数値で示すことができる場合はそれを記入してください)

(5) 従業員満足度の向上のために実践していることについて記述してください。

①従業員満足度の向上に対する企業の考え方

- ・当社では、「人材こそ企業にとって最大の財産」と考え、その能力を最大限活用するため・・・
- ・全ての社員にとって働きやすい職場になることを目標に、常に働き方改革を・・・
- ・

②従業員満足度の向上のための取組の内容

- 1 社内研修制度の実施
従業員の能力を伸ばし、最大限活用できるよう、以下のような充実した社内研修制度を整備している。
 - ・〇〇研修：・・・(補足資料あり：①)
 - ・
- 2 働き方改革の推進
働きやすい職場づくりのために、以下の取組を行っている。
 - ・勤務時間の削減：・・・
 - ・
- 3 〇〇の実施
・・・

取組の内容が詳しくわかる資料等がある場合は、このように注釈と番号を入れ、資料(郵送・持参の場合は各8部)を添付してください。補足資料は全体でA4サイズ20枚まで添付可能です。(カウント方法はQ&A参照)

育児支援に関する取組を記入する場合、(3)にも記入してください。

③取組により得られた効果・成果

- ・〇〇研修で専門知識を学んだ従業員からの提案により、〇〇〇事業を新たに開始することとなり、〇%の増収となった。・・・
- ・働き方改革を推進することで、従業員の離職率が、〇年度から〇年度の〇年間で〇%減少し、・・・
- ・

(効果・成果を具体的に記述する場合は、(5)には、勤務時間の削減、社内研修の充実、社内提案制度、能力に応じた人材登用、福利厚生充実など、働き方改革を推進する取組、従業員の能力開発の取組、従業員の能力を活用するための取組等、従業員のやる気を促し、満足度の向上につながる取組について記入してください)

(5)には、勤務時間の削減、社内研修の充実、社内提案制度、能力に応じた人材登用、福利厚生充実など、働き方改革を推進する取組、従業員の能力開発の取組、従業員の能力を活用するための取組等、従業員のやる気を促し、満足度の向上につながる取組について記入してください。

(6) (2) ~ (5) の取組を実施するにあたり、デジタルを活用していることがあれば記入してください。

- ・〇〇テレワークシステムの導入と、スマホによる〇〇データ共有のための〇〇システムを導入。これにより自席にいなくても〇〇作業ができるようになり、在宅勤務の取得が大幅に増加し・・・
- ・全ての社内研修は、多くの社員が参加しやすいよう、対面に加えてオンラインでも参加できるように・・・
- ・業務量削減とペーパーレスの推進のために〇〇管理システムを・・・
- ・工場見学の申し込みがオンラインでできるよう、ホームページに・・・
- ・

※「デジタルの活用」の具体例は以下に示すようなものです。このような取組で、働き方改革や自社の経営向上、経営基盤の改善に貢献している場合は、必ず記入してください。

ペーパーレス化／オンラインクラウドサービスの活用
スマホ・タブレットを

「※「デジタルの活用」の具体例」を参考に記入してください。必須ではありませんが、(2) ~ (5) の取組を推進するに当たって、効果的にデジタルを活用している場合は審査において考慮されますので、積極的にご記入ください。

(7) (2) ~ (5) の取組により実現した自社の付加価値向上や経営基盤の改善の実績などを記入してください。

- ・社内研修の充実により、従業員の商品知識が向上し、お客様に対する提案力が大幅に上がった。その結果、〇〇に対するお客様からの要望に対応できるようになり、顧客満足度が・・・
- ・働き方改革の推進により、工場の従業員の離職率が大幅に減少し、ベテラン作業員の技術が若い作業員に引き継がれるようになった。その結果、製品の歩留まり率が改善し・・・
- ・ペーパーレスや電気使用量削減、テレワーク推進等の取組の結果、管理コストや生産コストが減少し、経常利益率が〇%改善・・・
- ・長年の地域貢献の取組の結果、地域における企業イメージが向上し、採用活動にも好影響が出ている。地域の就職フェアに参加した際にも・・・
- ・
- ・

4 経営状況に関する指標

(1) 財務状況及び今後の経営計画の見通し

(単位：千円)

	前々期末 〔令和元年〕 〔12月〕	前期末 〔令和2年〕 〔12月〕	直近期末 〔令和3年〕 〔12月〕	1年後 〔令和4年〕 〔12月〕	2年後 〔令和5年〕 〔12月〕	3年後 〔令和6年〕 〔12月〕	4年後 〔令和7年〕 〔12月〕	5年後 〔令和8年〕 〔12月〕
①売上高	925,276	898,878	1,000,598	1,050,000	1,102,500	1,157,000	1,215,000	1,275,000
②売上原価	742,309	713,465	800,108	838,000	850,000	890,000	930,000	974,000
③売上総利益 (①-②)	182,967	185,413	200,490	212,000	252,500	267,000	285,000	301,000
④販売費及び 一般管理費	182,903	186,427	190,202	199,000	208,000	218,000	228,000	239,000
⑤営業利益 (③-④)	64	▲1,014	10,288	13,000	44,500	49,000	57,000	62,000
⑥経常利益	▲2,229	▲3,346	8,606	11,000	42,000	47,500	54,500	60,000
⑦人件費	248,009	228,915	249,780	262,000	270,000	280,000	290,000	300,000
⑧減価償却費	70,126	70,115	69,995	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
普通償却額	70,126	70,115	69,995	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
特別償却額	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨付加価値額 (⑤+⑦+⑧)	318,199	298,016	330,063	345,000	384,500	399,000	417,000	432,000
⑩従業員数	50	46	50	52	54	56	58	60
⑪一人当たり付 加価値額(⑨÷⑩)	6,364	6,479	6,601	6,635	7,120	7,125	7,190	7,200

・千円未満四捨五入の千円単位で記入。

・「⑦人件費」：給料、賃金、賞与、各種手当、福利厚生費、退職手当、派遣労働者に係る費用を含む。ただし、退職手当、派遣労働者に係る費用は含まない。

・「⑧減価償却費」：リース費用を算入する。

・「⑩従業員数」：正規社員及び非正規社員（短時間労働者を含む）の合計。役員及び派遣労働者は含まない。

・1年後～5年後の数値については、現時点での計画を書いてください。特に挙証資料の添付は必要ありませんが、審査の際にそう考える根拠をお聞きする場合があります。

Excel版の③、⑤、⑨、⑪は
自動計算です。

※ 新型コロナウイルス感染症の影響で業績が一時的に落ち込んでいる場合は、今後の業績回復見込み及び業績を回復させるために実践している取組等について教えてください。(既に業績が回復傾向にある場合は、そのために行った取組等について教えてください)

コロナ禍における外食産業の不振に伴い、前期及び前々期は経常赤字となった。しかし、〇〇で新規顧客を開拓したことにより、直近期末は経常黒字を回復しており、来期以降は新規事業の医療機器分野で

(2) 離職率

		期初従業員数 (a)	期中採用者数 (b)	期中退職者数 (c)	離職率 (A)
正規	直近決算期	29	2	1	3.2%
	前決算期	30	1	2	6.5%
	前々決算期	29	1	0	0%
非正規	直近決算期	17	4	1	4.8%
	前決算期	20	2	5	22.7%
	前々決算期	20	2	2	9.1%
合計	直近決算期	46	6	2	3.8%
	前決算期	50	3	7	13.2%
	前々決算期	49	3	2	3.8%

- ・ 離職率 $A = c \div (a + b) \times 100$ で計算し、小数点以下第1位まで
- ・ 従業員数合計の $(a) + (b) - (c)$ は、4 (1) の表⑩と一致するよう

Excel 版の (A) 及び合計は自動計算です。

※ 離職率について、一時的な急増等の特殊要因等がある場合は、その内容及び今後の改善に向けた見通しや取組等について記入してください。

前決算期において非正規従業員の離職率が上昇したのは、定年後の再雇用で雇い入れていた高齢の従業員が、体調を理由に自主退職した事例が重なったためである。当該年度だけの特殊な事例であり

5 経営理念、今後目指す企業の姿

(1) 経営理念を教えてください。

創業以来一貫して「当社の存在意義は〇〇の発展と共にある」が経営理念となっている。

(2) 経営理念を従業員に浸透させる取組として行っていることを記入してください。

- ・ 新入社員研修で経営理念について説明しており
- ・ 経営理念とその意図、経営理念に基づき実施した取組を照会する冊子「〇〇ハンドブック」を毎年度作成し
- ・ 新任管理職研修では、経営理念実現のために必要な知識を学ぶカリキュラムを取り入れ、管理職から社員に対して経営理念が浸透するような
- ・

Excel 版は丸付き数字に

(3) 現時点での経営理念の従業員への浸透状況を自己評価するとともに、そう考える理由や、更に浸透させるために取り組まなければならないこと等を記入してください。

自己評価 ←高	【 5 4 3 2 1 】	低→
【理由】 社内アンケートの結果、社員の100%が経営理念を理解しており、多くの社員が業務に当たって経営理念を念頭に置きながら取り組む姿勢が根付き・・・・・・・・		

(4) 「3 持続可能性の向上に向けた取組の内容」の(2)～(5)に記入していただいた取組を実施することにより、どのように自社の持続的発展につなげていきたいと考えているかなど、今後目指す自社の姿について記入してください。

当社では、「人材こそ当社の最大の財産」という人材に対する考え方と、創業以来の「当社の存在意義は〇〇の発展とともにある」という経営理念を経営の2本柱とし、従業員にとって働きやすい職場づくりと、地域に愛される企業づくりを・・・・・・・・環境に配慮した取組や、地域の子どもを応援する取組の実施も、この2本柱を実現していくためのものであり、この取組の成果により、低い離職率を維持するとともに、長年にわたって地元との良好な関係を・・・・・・・・
この2本柱は、今後も当社が地域において発展していくためのアイデンティティであり、これを続けていくことが結果的に当社の発展にも寄与するという考えのもと・・・・・・・・
今後の展開としては、消費者の間にエシカル消費の意識が高まってきている現状を踏まえ・・・・・・・・